

視覚障害者の個別避難計画にも役立つ、ナビアプリと連動した指で読むバリアフリーマップ

目の不自由な人も見える人と簡単に同じイメージを共有できるナビレク点図マップは、より正確で確実な避難計画作成に役立ちます。

株式会社アメディア

バリアフリー

歩行支援

災害

視覚障害

避難所

防災

● 2024年03月18日 14時31分



株式会社アメディア（東京都練馬区 代表：望月 優）が提供する歩行支援技術「ナビレク・バリアフリーマップ」と音声・歩行ナビアプリ「ナビレク」に新たに点図マップが加わりました。

この点図マップは、2024年3月28日まで実施する避難マッププロジェクトのクラウドファンディング提供品でもありません。

音声・歩行ナビアプリ「ナビレク（iOS/Android）」は、独自に作成するバリアフリーマップ*1をダウンロードして、音声アナウンスや効果音、振動で道案内をするナビアプリで、現地案内から予習までをこなします。

この度公開したナビレク点図マップは、アプリ「ナビレク」と連動して、ガイドを聞いてイメージする時に不足する具体性を補う触地図です。

*1正式名称：ナビレク・バリアフリーマップ

触地図とは

文字を点字で伝えるように、線の立体や触り心地を変えて、画像情報を伝えるのが立体印刷です。

移動を支援するものを触地図と呼び、これ自体は珍しいものではなく、駅や施設でも線が浮き出たり点字の入った案内板として活用されており、立体的な道案内が目の不自由な人々の助けとなっています。

株式会社アメディアが提供する触地図「ナビレク点図マップ」は、ナビアプリと連動させた"街を歩ける触地図"としてリスクのある外出をサポートします。

歩き方

アプリ「ナビレク」の再生モードまたはマイルート Neo（高知システム開発）でガイドを聞きながら点図をなぞると曲がるタイミング、曲がる角度、目的地の方向などがよく分かります。

歩く前に、具体的な経路をイメージする「予習」をしておく、実際に歩くときも先の行動が分かっている分、車や自転車などの周囲の音や白杖から伝わる情報にも、視覚障害者はより安全に気を配ることができます。



立体印刷（立体イメージプリンターEasyTactix使用）により経路や点字部分がぶつくりと盛り上がっています。

バリアフリーマップの特徴

ナビレク・バリアフリーマップは、マークとポイントと呼ばれる2種類のピンを使い分けて道案内をしています。

マーク

マークは、横断歩道や曲がり角などに置かれ、注意を促す役目があります。

ナビレクはマーク通過時に、やや低めで目立つ音を鳴らします。

また、次のマークに向かって振動する機能を使うと、三叉路など路地の多いところでも振動に従って正しい方向に歩き出せます。

ポイント

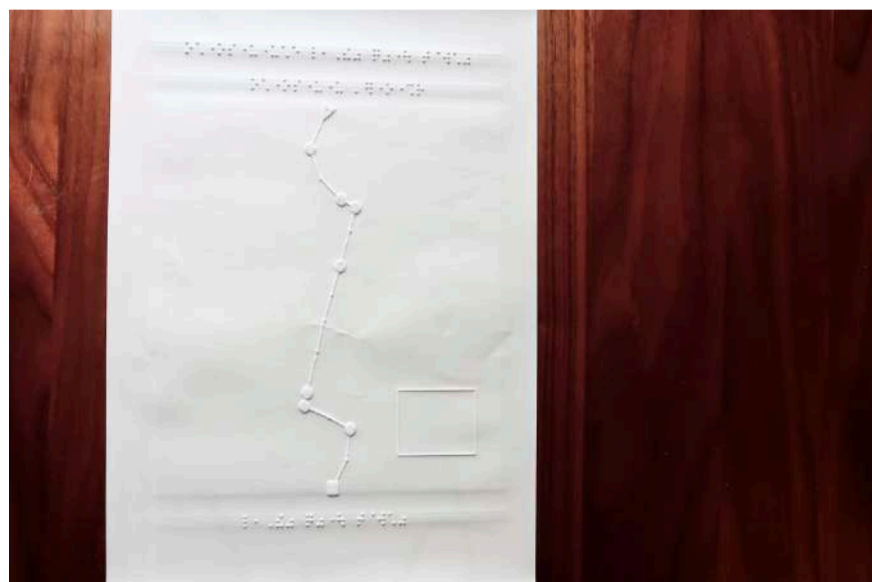
ポイントは、通過地点の簡単な説明や、正しいルートを歩いていることが分かる耳印（みみじるし）として置かれます。

ナビレクは、やや高めの音を短く鳴らします。

バリアフリーマップを画面で見ると、この2種類のピンが経路上に置かれていて、ピンとピンの間を線が繋いでいます。このピンと線を立体にしたものが「ナビレク点図マップ」です。

価格

ナビレク点図マップ 1枚（片道1経路） / サイズはいずれもA4



点図のみ：2,000円（非課税）



カラー併記：5,000円（非課税）



墨字のみ：300円(税別)

購入ページ

<https://navirec.amedia.co.jp/raised-map/>



避難マッププロジェクト

いざという時に視覚障害者が一人で避難できるように、自宅から避難所の往復マップを届けるプロジェクトの中で、視覚障害者へはカラー併記のナビレク点図マップを、地域の支援者など本人が希望する見える人向けには墨字のマップを合わせて提供します。

直観的にイメージを共有できるナビレク点図マップは、より正確で確実な避難計画に役立ちます。

クラウドファンディングサイトREADYFOR

2024年3月28日23時まで

https://readyfor.jp/projects/navirec_amedia

ナビレクとは

「ナビレク」は、視覚障害者の「歩く楽しさ」「楽しい社会参加」を支援する歩行ナビアプリ。

iOS/android版があり、各無料。

経路ごとにマップデータは専用のバリアフリーマップ作成ソフト「ナビエディット」で手作りされ、状況によって必要な情報を取り入れている。

歩く前に経路を把握できるよう、どこにいてもマップ内容を再生できる機能を搭載しており、これが他社のナビアプリには存在しない視覚障害者向けの独自の「バリアフリーマップ」機能。

道案内を開始すると、GPSに連動したテキストの読み上げや音と振動のガイドとなり、ユーザーは事前に聞いてイメージした経路と頭の中で照合しながら歩くことができる。

ナビレク紹介動画

<https://www.youtube.com/watch?v=pG8YMSNTHLQ>

<取材について>

視覚障害者の外出についてやバリアフリーマップ又は弊社への取材をお待ちしています。
代表取締役 望月優がインタビューにお答えします。

<リリース元>

株式会社アメディア

〒176-0011

東京都練馬区豊玉上1-15-6 第10秋山ビル

電話：050-1791-2070

ファクス：03-3994-7177

メール：navibiz@amedia.co.jp

1989年の設立依頼、視覚障害者の自立を支援することにテクノロジーで挑戦。

代表取締役 望月優は、視覚障害当事者の立場から、特に音声で印刷物を読み上げる製品「よむべえシリーズ」の開発に注力。

2016年より視覚障害者の外出インフラの向上を目的に、ナビアプリ開発に着手。

2019年には、現在のナビレク・バリアフリーマップの仕組みを確立させ、視覚障害者のみならず、見える人にとっても使いやすいバリアフリーマップとして、誰もが住みよい街づくりへの貢献を目指す。